



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月10日

上場会社名 株式会社 千葉興業銀行 上場取引所 東  
コード番号 8337 URL <https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>  
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 梅田 仁司  
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 中村 遵史 TEL 043-243-2111  
配当支払開始予定日 —  
特定取引勘定設置の有無 無  
決算補足説明資料作成の有無： 有  
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	41,971	3.8	8,531	1.3	5,811	△3.9
2024年3月期第3四半期	40,434	2.9	8,420	1.8	6,047	3.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,195百万円 (△89.1%) 2024年3月期第3四半期 10,976百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	101.23	64.69
2024年3月期第3四半期	105.63	44.54

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,317,108	176,339	5.1
2024年3月期	3,229,226	187,280	5.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 171,635百万円 2024年3月期 182,510百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、P.3「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	4.3	7,000	△5.7	108.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有  
新規 2社 (社名) 株式会社ちばくる、株式会社ちば興銀キャピタルパートナーズ  
除外 1社 (社名) ちば興銀カードサービス株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	62,222,045株	2024年3月期	62,222,045株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	4,939,822株	2024年3月期	4,962,715株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	57,275,447株	2024年3月期3Q	57,247,710株

(注) 当行は株式給付信託制度を導入しており、当該信託が所有する当行株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当行が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、株式市場等の状況変化等がありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る年間配当金の内訳は以下のとおりです。

第二種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	104.00	104.00
2025年3月期	—	—	—		
2025年3月期（予想）				104.00	104.00

第2回第六種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	300.00	300.00
2025年3月期	—	—	—		
2025年3月期（予想）				300.00	300.00

第1回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	900.00	900.00
2025年3月期	—	—	—		
2025年3月期（予想）				900.00	900.00

第2回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	9,000.00	9,000.00
2025年3月期	—	—	—		
2025年3月期（予想）				9,000.00	9,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 5
(セグメント情報等の注記) .....	P. 5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 7
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	P. 7
3. 2025年3月期第3四半期決算 補足説明資料 .....	P. 8
(1) 損益の状況【単体】 .....	P. 8
(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】 .....	P. 9
(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】 .....	P. 9
(4) 自己資本比率(国内基準)【単体】【連結】 .....	P. 10
(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】 .....	P. 10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期のわが国経済は、社会・経済活動の正常化が進み、国内景気は、人手不足や物価高の影響を受けながらも、好調な企業業績による賃上げや価格転嫁を背景に、緩やかな回復基調にあります。

当行グループが営業基盤とする千葉県におきましても、個人消費は回復の動きが見られ、住宅建設、企業の設備投資、企業景況感などは、一部に弱さがみられるものの、全体的には緩やかに持ち直しております。

このような金融経済環境において、当行は2022年4月にスタートさせた中期経営計画「幸せデザイン 絆プロジェクト 2025 ～CKBコミュニティ確立に向けて 1st ステージ～」に基づき、各種施策を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当行グループの経営成績は次のようになっております。

経常収益は、前年同期比15億37百万円増加の419億71百万円となりました。経常費用は同14億26百万円増加の334億39百万円となっております。

これらにより、経常利益は前年同期比1億10百万円増加の85億31百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2億35百万円減少の58億11百万円となっております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比878億円増加の3兆3,171億円となりました。また、純資産は同109億円減少の1,763億円となっております。

主要勘定の残高は次のとおりです。預金は前連結会計年度末比706億円増加の2兆9,471億円となりました。また、貸出金は同391億円増加の2兆4,162億円、有価証券は同24億円減少の5,229億円となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	258,928	315,541
買入金銭債権	97	97
商品有価証券	136	133
有価証券	525,434	522,973
貸出金	2,377,146	2,416,286
外国為替	3,246	4,033
その他資産	42,177	35,768
有形固定資産	18,915	18,701
無形固定資産	2,865	2,545
退職給付に係る資産	1,154	1,299
繰延税金資産	76	51
支払承諾見返	7,167	7,072
貸倒引当金	△8,121	△7,397
資産の部合計	3,229,226	3,317,108
<b>負債の部</b>		
預金	2,876,448	2,947,121
譲渡性預金	105,200	136,700
借用金	27,217	33,774
外国為替	135	134
その他負債	21,600	12,258
退職給付に係る負債	132	115
役員退職慰労引当金	35	15
株式給付引当金	224	246
睡眠預金払戻損失引当金	44	32
偶発損失引当金	265	265
繰延税金負債	3,473	3,033
支払承諾	7,167	7,072
負債の部合計	3,041,946	3,140,768
<b>純資産の部</b>		
資本金	62,120	62,120
資本剰余金	6,971	6,971
利益剰余金	96,889	90,534
自己株式	△2,338	△2,328
株主資本合計	163,643	157,298
その他有価証券評価差額金	15,902	11,312
繰延ヘッジ損益	284	419
退職給付に係る調整累計額	2,680	2,605
その他の包括利益累計額合計	18,867	14,337
新株予約権	145	165
非支配株主持分	4,624	4,538
純資産の部合計	187,280	176,339
負債及び純資産の部合計	3,229,226	3,317,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	40,434	41,971
資金運用収益	21,172	22,817
(うち貸出金利息)	16,811	17,539
(うち有価証券利息配当金)	3,683	4,455
役務取引等収益	9,596	9,369
その他業務収益	120	141
その他経常収益	9,544	9,643
経常費用	32,013	33,439
資金調達費用	563	1,464
(うち預金利息)	114	1,034
役務取引等費用	3,185	3,620
その他業務費用	1,772	2,351
営業経費	18,776	18,620
その他経常費用	7,715	7,383
経常利益	8,420	8,531
特別利益	9	—
固定資産処分益	9	—
特別損失	85	519
固定資産処分損	75	4
減損損失	10	—
子会社株式売却損	—	515
税金等調整前四半期純利益	8,344	8,011
法人税、住民税及び事業税	2,287	559
法人税等調整額	△42	1,564
法人税等合計	2,245	2,123
四半期純利益	6,099	5,887
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,047	5,811

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	6,099	5,887
その他の包括利益	4,876	△4,692
その他有価証券評価差額金	4,499	△4,752
繰延ヘッジ損益	254	135
退職給付に係る調整額	121	△75
四半期包括利益	10,976	1,195
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,667	1,281
非支配株主に係る四半期包括利益	309	△86

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	銀行業	リース業	信用保証・クレジット カード業	計				
経常収益								
外部顧客に対する経常収益	33,626	5,881	881	40,388	184	40,573	△139	40,434
セグメント間の内部経常収益	695	42	455	1,193	958	2,151	△2,151	—
計	34,321	5,923	1,336	41,582	1,142	42,724	△2,290	40,434
セグメント利益	8,178	55	792	9,025	44	9,070	△649	8,420

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務を含んでおります。

3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△139百万円は、貸倒引当金戻入益の調整であります。その他の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

記載すべき重要な事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	銀行業	リース業	信用保証・クレジット カード業	計				
経常収益								
外部顧客に対する経常収益	35,152	6,317	264	41,734	248	41,983	△11	41,971
セグメント間の内部経常収益	543	26	143	713	847	1,561	△1,561	—
計	35,695	6,343	408	42,448	1,096	43,544	△1,573	41,971
セグメント利益又は損失(△)	8,729	99	227	9,056	△21	9,034	△503	8,531

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務、地域商社・農業・コンサルティング業務、投資事業組合及び投資事業有限責任組合の運営・管理業務を含んでおります。

3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△11百万円は、貸倒引当金戻入益の調整であります。その他の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

5. 「信用保証・クレジットカード業」は、2024年7月1日付でちば興銀カードサービス株式会社の全株式を譲渡したことにより、同日時点までの業績を表示しております。

6. 2024年4月1日付で新規設立し、連結子会社とした株式会社ちばくる及び、2024年7月1日付で新規設立し、連結子会社とした株式会社ちば興銀キャピタルパートナーズは、「その他」に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2024年3月28日開催の取締役会において、第1回第七種優先株式の一部について、会社法第459条第1項及び当行定款第16条第2項の規定に基づく自己株式の取得及び会社法第178条に基づく自己株式の消却に係る事項について決議し、2024年5月2日に実施いたしました。

また、2024年7月30日開催の取締役会において、第二種優先株式の一部について、会社法第459条第1項及び当行定款第16条第2項の規定に基づく自己株式の取得及び会社法第178条に基づく自己株式の消却に係る事項について決議し、2024年8月20日に実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が10,588百万円減少、自己株式が10,588百万円増加及び減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金は90,534百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,550百万円	1,601百万円

3. 2025年3月期第3四半期決算 補足説明資料

(1) 損益の状況【単体】

【業務粗利益等】

資金利益は、貸出金利息の増加などにより前年同期比6億円増加しました。その他業務利益は、債券売却損の計上等により同5億円減少しました。これらにより業務粗利益は同1億円の増加となっております。

業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は人件費および物件費等の経費が同3億円増加したことにより、同2億円減少の63億40百万円となりました。コア業務純益は、同4億増加（+4.8%）の86億65百万円となっております。

【経常利益】

株式等関係損益は減少したものの、コストである不良債権処理額が改善したことなどにより、臨時損益は前年同期比10億円増加となりました。この結果、経常利益は、同5億円増加（+6.7%）の87億29百万円となりました。なお、2025年3月期業績予想（経常利益109億円）に対する進捗率は80.0%となっております。

【四半期純利益】

四半期純利益は、前年同期比7億円増加の68億62百万円となりました。なお、2025年3月期業績予想（当期純利益81億円）に対する進捗率は84.7%となっております。

(単位:百万円)

	2025年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	前年同期比
業務粗利益	25,056	24,930	125
(除く国債等債券関係損益)	(27,381)	(26,617)	(763)
資金利益	21,885	21,269	616
役務取引等利益	5,380	5,312	67
その他業務利益	△2,210	△1,651	△558
経費（除く臨時処理分）	(△) 18,715	18,353	362
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	6,340	6,577	△236
コア業務純益	8,665	8,264	401
除く投資信託解約損益	7,810	7,022	788
一般貸倒引当金繰入額	① (△) 228	(△90)	(318)
業務純益	6,112	6,577	△464
国債等債券関係損益	△2,325	△1,686	△638
臨時損益	2,616	1,600	1,015
不良債権処理額	② (△) 273	1,389	△1,116
うち個別貸倒引当金繰入額	(△) 76	(△241)	(318)
貸倒引当金戻入益 ※1	③ —	331	△331
償却債権取立益	④ 713	299	413
株式等関係損益	2,207	2,505	△297
経常利益	8,729	8,178	550
特別損益	619	△75	695
税引前四半期純利益	9,349	8,103	1,246
法人税等合計	(△) 2,486	1,976	510
四半期純利益	6,862	6,126	736
貸倒償却引当費用 ※2	(△) 501	1,057	△555
実質信用コスト ※3	(△) △212	757	△969

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）－国債等債券関係損益

※1 2024年3月期第3四半期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

※2 貸倒償却引当費用に関しては、2025年3月期第3四半期は貸倒引当金戻入益を計上していないため①+②にて、2024年3月期第3四半期は貸倒引当金戻入益を計上したため②-③にて算出しております。

※3 実質信用コストに関しては、同上の要因で2025年3月期第3四半期は①+②-④にて、2024年3月期第3四半期は②-③-④にて算出しております。

(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】

① 預金、投資信託等預り資産

預金残高は前年同期比190億円増加(+0.6%)の2兆9,488億円となりました。このうち、個人預金は同195億円増加(+0.9%)の2兆1,779億円となっております。

預り資産残高では、投資信託等の残高が同390億円増加(+24.7%)、年金保険等の残高が同137億円増加(+5.5%)しております。

	(単位:億円)			(参考)	(単位:億円)
	2024年12月末	2023年12月末	前年同期比	2024年3月末	
預金	29,488	29,298	190	28,846	
うち個人預金	21,779	21,584	195	21,468	
譲渡性預金	1,367	1,297	70	1,052	
公共債	112	103	9	105	
投資信託等	1,968	1,578	390	1,808	
年金保険等	2,603	2,465	137	2,479	

② 貸出金

貸出金残高は、中小企業等貸出を中心に増加を図り、前年同期比289億円増加(+1.2%)の2兆4,208億円となりました。

	(単位:億円)			(参考)	(単位:億円)
	2024年12月末	2023年12月末	前年同期比	2024年3月末	
貸出金	24,208	23,918	289	23,809	
うち住宅ローン	7,815	8,092	△277	8,009	
中小企業等貸出	21,414	21,053	360	21,154	

(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】

	(単位:億円)				(参考)				(単位:億円)			
	2024年12月末				2023年12月末				2024年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	4,203	169	339	170	4,423	172	316	144	4,487	236	368	131
株式	461	327	328	0	421	311	311	0	477	357	357	0
債券	2,235	△77	0	78	2,792	△49	1	51	2,891	△58	0	59
その他	1,507	△80	10	91	1,209	△89	3	92	1,119	△61	10	72

(注)なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位:億円)				(参考)				(単位:億円)			
	2024年12月末				2023年12月末				2024年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	1,001	△34	0	35	673	△3	3	6	741	△6	1	8
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 自己資本比率(国内基準)【単体】【連結】

2024年12月末における銀行単体の自己資本比率は、前年同期比0.36ポイント低下し8.60%となりました。また、連結の自己資本比率も同0.51ポイント低下し8.65%となっております。

【単体】

	(単位:百万円)			(参考)(単位:百万円)
	2024年12月末	2023年12月末	前年同期比	2024年3月末
①自己資本比率(%)	8.60	8.96	△0.36	9.00
②コア資本に係る基礎項目	159,486	159,960	△474	162,957
③コア資本に係る調整項目	1,652	1,779	△126	1,807
④自己資本 ②-③	157,833	158,181	△347	161,149
⑤リスクアセット	1,833,670	1,764,663	69,006	1,790,507

【連結】

	(単位:百万円)			(参考)(単位:百万円)
	2024年12月末	2023年12月末	前年同期比	2024年3月末
①自己資本比率(%)	8.65	9.16	△0.51	9.11
②コア資本に係る基礎項目	162,553	165,567	△3,014	167,325
③コア資本に係る調整項目	2,680	1,967	713	2,795
④自己資本 ②-③	159,873	163,600	△3,727	164,530
⑤リスクアセット	1,847,265	1,785,916	61,349	1,805,780

(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】

金融再生法に基づく不良債権額は、前年同期比17億円増加の438億円となりました。また、総与信残高に占める不良債権額の割合(不良債権比率)は、同0.05ポイント上昇し1.78%となっております。

今後とも地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的にサポートし、恒久的な金融円滑化に取り組んでまいります。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)
	2024年12月末	2023年12月末	前年同期比	2024年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	36	51	△15	50
危険債権	344	319	24	320
要管理債権	57	49	7	55
うち三月以上延滞債権	0	—	0	0
うち貸出条件緩和債権	57	49	7	55
合計 ①	438	421	17	426
正常債権	24,113	23,896	217	23,754
総与信残高 ②	24,552	24,318	234	24,180
不良債権比率(%) ①/②	1.78	1.73	0.05	1.76

以上